

単元名：旅行の思い出スライドショーを作ろう																																	
科目名	韓国語	作成日	2013年11月1日	作成者	澤邊裕子																												
学年／年次	－	クラス人数	－	使用教科書と課	－																												
話題分野	自分と身近な人びと/趣味と遊び/自然環境/食/交通と旅行	言語レベル	2	必要時間数	40分×9回																												
Ⅰ 単元目標																																	
旅行で出会った人、食べた食事、泊った宿、利用した交通手段、目にした景観などの写真を整理し、旅を通して体験したこと、感じたこと、学んだことを振り返る。グループのメンバーがそれぞれ体験した旅行や、クラス全体での修学旅行などの旅行を取り上げ、それを人にわかりやすく伝えるために、構成を考え、言葉を添えてスライドショーを作ることができる。そして、韓国の交流校の生徒と交換し、内容を理解し、感想コメントを書いたり、もらったコメントを読んで理解し、その内容をクラスに報告することができる。 <table><tr><td></td><td>言語</td><td>文化</td><td>グローバル社会</td><td>学習者</td><td>教室外</td><td>他教科</td></tr><tr><td>わかる</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>できる</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>つながる</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科	わかる							できる							つながる						
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科																											
わかる																																	
できる																																	
つながる																																	
言語領域		文化領域		グローバル社会領域																													
◆写真を見せ、相手の反応を見ながら旅行の思い出について紹介しあうことができる。 ◆他の生徒が作ったスライドショーを見て、内容を理解することができる。 ◆スライドショーを作成し、発表することができる。 ◆韓国の生徒が作った資料を見て感想や気づいたことについて口頭で発表するとともに、コメントを書くことができる。 ◆わからない単語や表現があったとき、辞書や教師、友人の助けを得てその意味を調べることができる。(コミュニケーションストラテジー) ◆どのようなコメントをもらったら相手が嬉しいかを考えてコメント文を考えることができる。(コミュニケーションストラテジー)		◆旅の楽しみ方や工夫について、日韓の共通点、相違点に気づき、その背景にある社会事情や家族観について自分なりの視点を持つことができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。		◆どんな旅行サービスが利用できるのかについて知ることができる。(知識理解) ◆グループで協力してスライドショーを作成することができる。(協働) ◆PCを使って写真と字幕入りスライドショーを作成することができる。(情報活用) ◆自分なりのテーマ性をもって、伝えたいポイントや込めたいメッセージなどを考え、効果的なプレゼンテーションの方法を考え、形にすることができる。(高度思考) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。																													
コミュニケーション能力指標	【自分と身近な人びと】 1-b.家族構成について会話したり、書いて説明したりできる。 2-a.家族の職業やペットについて、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。 【趣味と遊び】 2-b.休みの日にしたことについて、感想を含めて、口頭で伝えあうことができる。 2-f.好きなものや趣味が何か、口頭でまたは書いてやりとりできる。 【食】 2-f.料理の種類の好みについて、会話できる。 【自然環境】 2-f.自分の住んでいる地域にある景勝地(場所、名前)を、口頭で紹介できる。 【交通と旅行】 2-i.旅行計画やいままでの旅行(いつ、どこへ、誰と、何日くらい)について、会話できる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している																																
Ⅱ 評価																																	
学習を助けるための評価 (形成的評価)			目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)																														
◆家族や旅行地、その土地の有名な食べ物の写真を見せながら、ハングルの名称と一致させるマッチングゲームをする。(評価基準 正確さ) ◆グループの一人一人が単語カード(人の名前、旅行地、食べたもの、見たもの、感想を述べる単語)をランダムに引き、適切な助詞を加えて文を作るゲームをする。(評価基準 文の正確さ、速さ) ◆PCを使ってハングル入力ゲームをして、正確にハングルが入力できるようにする。入力する単語は話題分野に関するものとする。(評価基準 入力の正確さ、速さ)			◆スライドショーを作成し、クラスで発表する。(評価基準 内容・構成の適切さ、聴衆をひきつける工夫、語彙・表現の適切さ、正確さ、グループワークへの貢献度、クイズへの参加と内容理解度) ◆韓国の生徒から届いたコメントについて報告する。(評価基準 聴衆が聞きやすい報告の仕方への工夫、コメントの理解度) ◆韓国の生徒のスライドショーを見て、感想コメントを書く。(評価基準 語彙・表現の適切さ 内容の理解度)																														

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
◆教師やアシスタント教師のモデルを見て、使えそうな(使いたい)表現や語彙をチェックする。 ◆家族や旅行地、その土地の有名な食べ物の写真を見せながら、ハングルの名称と一致させるマッチングゲームをする。【自分と身近な人々1-b、自然環境2-f】 ◆グループの一人一人が単語カード(人の名前、旅行地、食べたもの、見たもの、感想を述べる単語)をランダムに引き、適切な助詞を加えて文を作るゲームをする。【交通と旅行2-i】 ◆PCを使ってハングル入力ゲームをして、正確にハングルが入力できるようにする。入力する単語は話題分野に関するものとする。 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	<場面状況> 高等学校の高大連携授業では、韓国で日本語を学んでいる生徒との交流学习を行っている。休み明けの授業で、旅行の思い出(旅行した場所、一緒に行った人、旅行先で見たこと、食べたもの等、簡単な感想)について紹介したスライドショーを作り、韓国の交流校の生徒と交換しコメントしあうことになった。 <活動の流れ> 教師またはアシスタント教師が作成したスライドショーのモデルを見た後、生徒はグループまたは個人でスライドショー作成をする。今までの旅行経験の中で思い出深かったところを選び、どのような写真を使って伝えるかを考え、構想シートに記入する。 スライドショーの構成を考え、字幕に入れる文を教師の助けを得ながら作成する。作成したスライドショーはクラスで発表し、発表者が作成したクイズによってクラスメートの理解度を確認する。スライドショーは韓国の交流校に送付し、コメントを求める。 コメント及び韓国の生徒の資料が届いたら、それを読み取り、内容や気づいた点をクラスメートに報告するとともに新しく知った単語や表現についても調べて日本語と韓国語を使って発表する。さらに資料へのコメントをつけて交流校に送付する。 ヒント ◆韓国の生徒から同テーマの資料が届かなかった場合は、大学の韓国人留学生の旅行の思い出スライドショーを用いる。 ◆韓国の生徒と共同でホームページを作成し、互いに作った資料をアップする。授業外の時間を使ってそのページにアクセスし、コメントを書いたり読んだりする。 ◆スライドショーをパワーポイントで作成し、キャプション文の音声を挿入して送る。	
<使用教材・教具> PC、写真、構想用ワークシート ※インターネット環境の整った教室を用意する。		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<表現> 어디에 갔어요?~에 갔어요.(どこへ行きましたか/～へ行きました) 누구하고 같이 갔어요? (だれと一緒にに行きましたか) ～하고 같이 갔어요.(～と一緒にに行きました) 무엇을 했어요? (何をしましたか) ～를/을 먹었어요.(～を食べました) ～를/을 봤어요. (～を見ました) 어땠어요?(どうでしたか) 재미있었어요.(面白かったです)/즐거웠어요.(楽しかったです)/힘들었어요.(疲れました)/아름다웠어요.(きれいでした)/맛있었어요.(おいしかったです) その他必要な表現を随時導入する。 <表現のポイント> 動詞、形容詞の過去形	◆家族名称 가족/아버지/어머니/오빠/형/언니/누나/여동생/남동생 ◆形容詞 재미있어요/즐거워요/힘들어요/아름다워요/마있어요等 ◆旅行地の名前 ◆その土地で食べたものの名前や見たものの名前等 必要な単語を随時導入する。	<事象> ◆旅行地と有名な食べ物 ◆核家族(家族構成) ◆休みの日の過ごし方 <事象のポイント> ◆お盆やお正月、連休などの過ごし方について、家族とともに過ごすか過ごさないかを含めてクラスメートの間、日韓の教室の間で共通点や相違点について気付く。 ◆お土産文化や地域の有名な名物について知り、なぜそのような文化が生まれたのか、日韓で相違点や共通点はあるのかなどを考える。さらに、外国の人にこのような文化を伝えるために有効な方法を考える。
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
韓国の高校のクラスと連携し、成果物を交換する		社会(地理)、情報

授業	主な活動	留意点など
1回目 プレ活動	・ 教師またはアシスタント教師の「旅行の思い出」スライドショーを見て、内容理解のチェックをするとともに、使える語彙や表現を確認する。今回の授業目標を確認する。 ・ 近隣の観光名所がハングル表記されたカードを使って、地名を早く読む練習をする。 ・ 「방학에 어디에 갔어요? (休みにどこへ行きましたか)」「~에 갔어요 (~へ行きました)」の表現を使いながら、この数年の間に旅行した場所で印象深かったところ、他の人に紹介したい場所について一人ずつ発表する。発表者以外はその場所について情報をワークシートに記入する。 ・ 紹介したい旅行の思い出についてのアウトラインを書く。	・ モデルとなるスライドショーがあったほうが学生がスムーズに作業にとりかかりやすい。 ・ 旅行でなくても、日帰りのおでかけでも良いので、印象に残っているものを紹介してもらう。
2回目 プレ活動	・ 家族名称を復習し、グループ内で自分の家族 (家族構成、兄弟の有無など) について発表する。 ・ 旅行に誰といったかについてペアで聞き合う練習をする。「누구하고 같이 갔어요? (誰と一緒に行了きましたか)」「~하고 같이 갔어요. (~と一緒に行了きました)」 ・ 旅行地でしたこと (見た物、食べた物など)、感想を述べる表現を絵カードで導入し、カードと表現のマッチング練習を行う。	
3回目 プレ活動	・ グループを作り、一人一人が韓国語単語カード (人の名前、旅行地、食べたもの、見たもの、感想を述べる単語) をランダムに引き、適切な助詞を加えて文を作るゲームをする。 ~하고 ~에 갔어요. ~를/을 봤어요. 그리고 ~를/을 먹었어요. 재미있었어요. (引いた単語カードに基づいて文を作る) ・ PCを使って、ハングル入力の仕方を知り、練習をする。自分の名前、これまでに習った単語を入力し、プリントアウトして教師に提出する。	次回の授業でスライドショーで使う写真を選ぶため、可能ならば持ってくるように伝える。
4回目	・ グループで「旅行の思い出スライドショー」の構成 (使用する写真、字幕など) を考え、ワークシートに記入する。 * 使用できるスライドの数を制限する (1グループ30枚まで等)。 * 日本語版と韓国語版を作成する。 ・ スライドショーの内容に関するクイズ問題 (内容把握問題) を韓国語で作成する。 ・ ワークシートに記入したら教師のチェックを受け、PCでの作業を始める。	
5, 6回目	・ PCを使ってスライドショーの作成をする。音楽を入れるなどして見て楽しいものに仕上げる。 ・ スライドショーの内容に関するクイズが完成したら教師のチェックを受け、wordでクイズのプリントを作成する。	
7回目	・ クラス内でスライドショー発表会をする。 ・ 各グループが作成したスライドショーを見せながら、感想を述べ合う (日本語でも良い)。わからない単語や表現があったら、生徒同士尋ね合う。 ・ 各グループが作成したスライドショーの内容クイズ (プリント) に答え、提出する。完成したスライドショーはDVDに焼いて送るか、アクセスのためのアドレスを教えるなどして、交流校に送付し、コメントを求める。	
8回目	・ 交流校から送られてきた資料を見て、内容を読みとる。自分の担当の資料について、わからない単語や表現があったら辞書を引いたり教師やクラスメートに聞いたりしながら調べる。 ・ 資料について気がついたことを感想コメント用紙に記入する (日本語で良い)。資料へのコメントを韓国語で書いてくることを宿題とする。	交流校からの資料がこの時期までには届いているように連絡を取り合い、準備する。
9回目	・ 交流校から送られてきた資料についての報告会を行う。資料を見せながら内容の説明、感想コメントをなるべく韓国語を多く使って発表する。さらに、新しく知った単語や表現について調べたことについて日本語と韓国語を使って発表する。	